

HOPE!

祇園中1年
学年通信
平成26年
5月22日号

野外活動が終わりました。∞

2泊3日の野外活動が終わりました。天候にも恵まれ、充実した3日間を過ごすことができました。主な活動は5つ。その様子を紹介します。

①TAP(徳地アドベンチャープログラム)

エレメントと呼ばれるプログラム専用のコースを指導員の方と一緒に回りました。グループワークを通じて、コミュニケーションの力、協調性、自分や他の人への信頼感を高めることを目的とするプログラムでした。

次から次へと課題が出され、その達成のために試行錯誤の連続でしたが、笑いあり、緊張ありの活動でした。そんな活動の中で、前向きな意見がたくさん出るグループや、男女関係なく相手のことを考えた言葉かけや行動がとれるグループは、達成までの時間が短かったようです。

楽しみながら、実践を通して集団生活に大切なことを学ぶことができましたプログラムでした。

②焼板細工

一枚の板を好みの形に切り、火で板を焼き、焦げた部分を切り落とし、表面を磨くと、見事に木目が浮かび上がりました。焼きすぎて、元の板の3分の1にまでなった人もいましたが、それもまた思い出。金具を取り付けてペイントをし、思い出に残るプレートができました。そのプレートを手にして写真も撮りました。

『〇〇のへや』『在室中』『留守です』『入るな』などと書かれた焼板は、今では家のどこかにつり下げられていることでしょう。



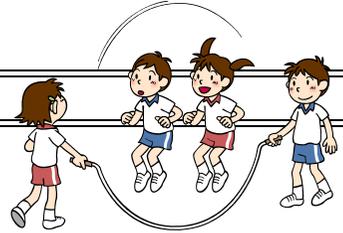


③学習

何で野活で勉強？・・・と思った人も多かったことでしょう。野活が終われば、試験週間。50分間集中して勉強に取り組みました。ひたすら鉛筆を走らせる音だけが、部屋に響いていました。集中して勉強に取り組む力があることを証明できました。やればできる！

④長縄とびの練習

3日目の『長縄とびクラスマッチ』に備え、学習を終えたクラスは、長縄とびの練習をしました。クラス全員が、長い縄を跳びます。縄を回す人は大変です。また、クラス全員で息を合わせて跳ぶことも大変です。どうやったらうまく跳べるのか？良い案が浮かばず、跳ぶほうも回すほうもへとへと・・・ついついひっかかった人を責めたり、ため息が出たりしてイヤなムード。そんなムードを解決するには、やはり相手を思う心！クラス団結に向けてがんばりました。



⑤長縄とびクラスマッチ

3日目は、朝から気温がぐんぐん上昇。そんな中、前日までの練習の成果を発揮するときです。回す人の要領も良くなりました。みんなのかけ声も大きくなりました。どのクラスも最後の活動までがんばりました。

1位・・・8組（48回）

2位・・・4組（47回）

3位・・・2組（28回）

※回数は3分間×2の累積回数

体育祭の種目になっているので、挽回のチャンスは今からです！

小学校の野外活動で行った施設とは違い、一見コテージ風の宿泊棟に、大人数で寝泊まり。ちょっと興奮気味！？・・・今年は鼻血が出た人が多かったのはなぜ？

朝夕の食堂食はバイキング！バランス良くおかずをとっている人。野菜なしの大盛りおかずの人。デザートゼリーがおかずより多い人・・・みんなおいしく楽しくいただきました。食堂のコック長さんが、『これだけの大勢の生徒が、統制がとれていて混乱もなくスムーズに食事を取ることができて素晴らしい！』と何度も褒めてくださいました。

